

中国人日本語学習者の「的」付きナ形容詞の習得に関する研究 —BCCWJ コーパス調査とアンケート調査の分析を通じて—

呉 雪梅（一橋大学言語社会研究科）

Chinese Learners' Uses of Na-Adjective Ending in “-teki”:

Based on Analysis of BCCWJ and Questionnaire Surveys

Wu Xuemei (Hitotsubashi University Graduate School of Language and Society)

1. 要旨

日本語では明治以降、接尾辞の「的」付きナ形容詞が大量に作られてきた。以前は、藤居（1957）のように「的」が濫用されているという指摘もあったが（藤居（1957））、現在では、「的」付き形容詞の使用が定着している。小出（2004）ではさらに新しい意味でも使われているという指摘がある（小出（2004））。一般的に、「的」付きナ形容詞の形成パターンは、「漢語+的」「外来語+的」「和語+的」「混種語+的」という4つである。王娟他（2001）によると、その中では「漢語+的」というパターンが最も多いと言われている。

接尾辞「的」の意味は、遠藤（1984）によって、以下の4つに分類されている。

- a. 「～に関する」、「～について」: 「科学的な説明」「教育的な立場」
- b. 「～のような性質を有する」: 「代表的な書物」「一般的な知識」
- c. 「～の状態にある」、「～らしい」: 「圧倒的な勝利」「貴族的な顔」
- d. 「～としての/である」: 「職業的な軍人」「物的な証拠」

一方、中国語にも助詞“的”がある。中国語の助詞“的”は複雑な働きを持っている。中には、“健康的生活”（健康的な生活）、“一般的说法”（一般的な言い方）のように、形容詞と名詞の中に置かれ、性質を表す機能がある。

『現代漢語詞典 第5版』（商務印刷局出版）及び『大辞林 第三版』により、中国語の“的”と日本語の「的」の意味と用法について、以下のように整理をした（次ページ表1参照）。

中国語の“的”は、助詞として、日本語の接尾辞の「的」と同じように、名詞の後ろに置いて使われているが、名詞に付いて、修飾機能のある独立語となる機能はないと考えられる。

それぞれの用法は違うが、両者は形が似ており、意味が対応して、同じである場合が少なくない。中国と日本は同じ漢字圏であり、このような「漢語+的」ナ形容詞の習得には、中国人学習者にとって、メリットがあると思われる一方、曹・仁科（2006）で指摘されているように、中国人日本語学習者の「的」の過剰使用及び「的」の脱落などの誤用もよく見られる。

本研究は、日中両国語を対照する観点から、「的」付きナ形容詞と非「的」付きナ形容詞について学習者の誤用の特徴を分析し、指導方法の探索を試みるものである。

表1 中国語の「的」と日本語の「的」の比較

中国語の“的”
<p>*助詞、非独立語</p> <p>1. 形容詞と中心語の中に置かれ、二語の修飾関係を表す： “<u>幸福</u>的生活”（「幸福な生活」）、“<u>漂亮</u>的衣服”（「綺麗な服」）など</p> <p>2. 名詞と名詞の間に置かれ、所属関係を表す（日本語の「の」に相当する）： 「<u>我的</u>书」（私の本） “这本书，是<u>你的</u>吗？”「この本は、<u>君の</u>ですか？」</p> <p>3. 特定の人や、職業を指す： “<u>男的</u>”（「男の人」）、“<u>送报的</u>”（「新聞配達員」）</p> <p>4. 述語の後に置かれ、動作主や、時間、場所などを強調する。この用法は、過去の状況に限る。 “谁买的书？”（誰が買った本なの？） “他是昨天进的城。”（彼は昨日町に来た。）</p> <p>5. 句末に置かれ、肯定のニュアンスを強調する。 “这件事儿我是知道的。”（この件について、私が知っていた。）</p> <p>6. 数詞の真ん中に置かれ、「かける」と「プラス」の意味である。 “五米的<u>三米</u>”（「五メートルかける三メートル」）、 “两个的<u>三个</u>”（「二つプラス三つ」）</p>

日本語の「的」
<p>*接尾辞、非独立語</p> <p>1. 名詞およびそれに準ずる語に付いて、形容動詞の語幹を作る。 ア主に物や人を表す名詞について、それそのものではないが、それに似た性質を持っていること表す。～よう。～ふう。 例：「母親的な存在」、「スーパーマン的な働き」 イ主に抽象的な事柄を表す漢語に付いて、その状態にあることを表す。 例：「印象的な光景」、「積極的な行動」 ウ物事の分野・方面などを表す漢語について、その観点や側面から見て、という意を表す。 例：「事務的な配慮」、「学問的に間違っている」</p> <p>2. 人の名前・行為・職業などを表す語、またはその一部に付いて、それに対する軽蔑や親しみの気持ちを表す。 例：「泥的」＝「泥棒」、「正的」＝正雄・正子など</p>

2. 先行研究

「的」付きナ形容詞と非「的」付きナ形容詞について、言語対照や、意味論、量的な分析など、多くの視点から、数多くの先行研究がある（遠藤(1984)、堀口(1992)、南雲(1993)、丸山(1993)、望月(2010)など)が、「的」付きナ形容詞の習得指導に関する論文は、多くはない（梁(2005)、曹・仁科(2006)、望月(2010)など）。望月(2010)及び曹・仁科(2006)は、学習者の書いた作文をデータ化し、そこから誤用の分析をした上で、指導方法を提案したものである。しかし、これらの提案が役に立つかどうかを検証した先行研究は、筆者の知る限り、まだないようである。

「的」と一緒に共起する語幹の判断基準は様々な見解があり、統一されていない。言語コーパスを用いて、客観的に検証し、整理する必要があると思われる。

3. 事前調査

事前調査として、以下のような方法でコーパスの検索結果と母語話者及び学習者のアンケート結果と比較した。

(1) 『日本語能力試験出題基準』(2006年3月版)に掲載されているN2レベルまでの二字漢語を調査対象(1802語)とする。

(2) すべての二字漢語が語幹として接尾辞「的」を付けて使えるかどうかを国立国語研究所の『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(以下、BCCWJと言う)で検証する。検証の結果は次ページの図1~3に示した。

(3) 抽出した二字漢語が「的」と一緒に使えるかどうかを母語話者と中国人日本語学習者に答えてもらった。

(4) BCCWJで検証した結果と、母語話者と学習者の答を対照し、それぞれの答の違いや、学習者の誤用とその特徴(どの意味で間違えやすいのか、どの文脈で間違えているのか)を分析し、その誤用を防ぐ指導方法を探る。BCCWJと母語話者、学習者の比較結果は図4~図8に示した。

事前調査は、2012年6月に日本語母語話者5名(男2、女3)と中国人日本語学習者10名¹(男4、女6)へのアンケート調査を実施した。アンケート調査の内容は、抽出した1802個の二字漢語が「的」と使えるかどうかを被験者に判断してもらうということである。調査量が多すぎるため、一定した正確な結果が出にくいことが分かった。したがって、より自然な結果が出やすい事前調査をもう一回行う必要があると考えられる²。今回は、一回目の事前調査で出たデータその分析を紹介する。

4. 事前調査で得たデータについて

4.1 BCCWJでの検索結果：

「的」が付く漢語は、697語(38.68%)であった。一方、「的」が付かない漢語は、990語(54.94%)であった(この中には、「的」が付かないナ形容詞132語(6.60%)が含まれている)。なお、「条件付き」というのは、「国家主義的」のように、語幹の前に名詞を加えて、「○○+語幹」+「的」というような形で「的」と共起している例を指す。

	語幹の品詞とその割合	数		割合
名詞	1712 95.00%	名詞・普通名詞・一般	946	52.25%
		名詞・普通名詞・サ変可能	593	32.91%
		名詞・普通名詞・副詞可能	90	5.00%
		名詞・普通名詞・形状詞可能	76	4.22%
		名詞・普通名詞・サ変形状詞可能	14	0.78%
		名詞・普通名詞・助数詞可能	5	0.28%
		固有名詞・地名・一般	1	0.06%
副詞		19	1.05%	
形状詞		77	4.27%	
		延べ語数：1821		異なり語数：1802

図1 BCCWJの検索結果

¹ 10人の学習者はすべて超上級レベルである。

² 第二回の調査は現在実施中である。

「的」と共起できない語とその割合		
品詞	数	割合
ナ形容詞	132	7.33%
名詞	851	47.23%
名詞・サ変可能	244	13.54%
副詞	6	0.33%
その他	13	0.72%

図 2 「的」と共起しない語

語幹の品詞とその割合		
品詞	数	割合
名詞	1141	63.32%
名詞・サ変可能	508	28.19%
ナ形容詞	132	7.33%
副詞	17	0.94%
そのほか	13	0.72%
延べ語数：1811		
異なり語数：1802		

図 3 語幹の品詞

4.2 母語話者と学習者の比較結果

A.1082 語の中で、「的」と一緒に使えるとされた判断率。

母語話者：864 語 (33.83%)

学習者：743 語 (41.21%)

B.選択した語幹の一致率

母語話者：58 語 (3.22%) 図 4 参照

学習者：6 語 (0.33%) 図 5 参照

母語話者と学習者が一致した語：4 語 (政治、国際、世界、意味)

	語数	割合
総語数	1802	100%
全員一致	58	3.22%
4 個一致	97	5.38%
3 個一致	100	5.55%
2 個一致	187	10.38%
1 個一致	394	21.86%
合計	864	47.89%

図 4 母語話者の一致率

	語数	割合
総語数	1802	100%
全員一致	6	0.33%
9個一致	11	0.61%
8個一致	22	1.22%
7個一致	24	1.33%
6個一致	32	1.78%
5個一致	30	1.66%
4個一致	59	3.27%
3個一致	86	4.77%
2個一致	137	7.60%
1個一致	338	18.76%
合計	745	41.34%

図5 学習者の一致率

図4と図5から、母語話者や学習者にもかかわらず、「的」と一緒に使える語幹の選択基準がそれぞれであり、一致率が極めて低いということが分かった。

4.3 「的」の付かないナ形容詞（132語）について（図6）³

「的」の付かないナ形容詞の場合、母語話者の正解率が高く、一方、学習者のほうが色々間違えやすいことが見て取れる。指導方法として、まずは、これらの「的」の付かないナ形容詞を整理して学習者に教える必要があると思われる。

4.4 上位100位語幹の特徴とは？（図7）⁴

「的」が付く二字漢語は、BCCWJの検索で、用例の多い上位100位の語幹の特徴について、現段階、以下のようなことが分かった。

- A. すべて名詞である。その中では、サ変可能なものが18語、サ変かつ形状詞になれるのは1語（「直接」）、副詞および接続詞として使われるのが1語（「一方」）、接続詞として使われるのは1語であった（「絶対」）。
- B. 上位100位の語幹は、母語話者と学習者の一致率が高い。

4.5 「的」と共起しない語幹について（図8）⁵

BCCWJを利用し、「的」と共起しない二字漢語は図8の通りである。しかし、母語話者と学習者もこのような語を語幹として迷ったり、選んだりしている。この傾向を見て、いくつかの疑問があった。

³ 図6は132語から50語を抽出したものである。

⁴ 50個を抽出したものである。データの整理は未完成である。

⁵ 元々「的」が付かない語彙は984個であり、「～な」形のナ形容詞を除いて、残り865語であり、その中から50語を抽出したものである。

A. このような語は、どのような特徴をしているのか。

このような語は、ほとんど名詞であり、中には、サ変動詞になれる語もある。他には、副詞も含まれている。このような語の性質をみると、変化を表さない、さらに「性質」を表すこともない。そのため、「的」と共起できないと考えられる。

サ変可能の名詞については、「的」と共起できる名詞もあれば（例えば、「比較」、「代表」である。図7を参照）、図8の中にある「演奏」、「引退」という語は、同じくサ変動詞になれるが、「的」と共起できない。「的」と共起できるサ変可能の名詞はどのような特徴をしているのかをこれからの課題として分析を深めるつもりである。

B. 今回の調査で、学習者からフィードバックをもらった。中国人の学習者には、「的」という語は、とても抽象的な意味であり、話し言葉より、書き言葉特に論文を書くときに使うという意見があった。ほかに、「的」がいつ付くかということについて、多くの学習者は「なんとなく感覚で」と答えた。母語話者と学習者がどのような基準でこのような語幹を選んだのか。たとえば、どのような場面や、文脈を考えながら、その語幹を選んだのかについて、調査したい。今後の調査には、被験者にインタビューする工夫が必要と思われる。

5. まとめ

本稿では、現在進めている修士論文の構想と実際行われた事前調査の結果を紹介した。

接尾辞「的」に関する研究は、数十年前から行われてきた。最初は、「的」の濫用問題として取り扱われていたが、後には「的」の意味や、「的」の量的特徴、「的」の日中対照研究などの観点から数多くの研究がなされている。そして、「的」の習得問題にも関心が集まっている。しかし、言語コーパスのない時代には、データの分析方法は非常に限られていた。「的」付きナ形容詞と非「的」付きナ形容詞の特徴について、遠藤(1984)、王娟他(2001)、原(1986)、堀口(1992)などいくつかの先行研究はあったが、はっきりできた先行研究はいまだにないと言えるだろう。

今回の事前調査で、学習者だけではなく、母語話者にも「的」付きナ形容詞の誤用が見られる。「的」付きナ形容詞の使用は個人的な部分もあり、さらに「的」の使い方はますます変化し、「的」が付く語幹への容許度も上がっていくので、はっきりそのルールを出すのは難しいと思われる。

調査対象を絞って、言語コーパスを利用し、科学的な分析方法である程度のルールをまとめ、頻度の高い語彙に対して、その特徴を整理し、自分なりの指導方法を生み出して、学習者の習得に役に立つことを期待している。

漢語	級	形容詞	母語話者					中納言	中国人学習者										
			A	B	C	D	E		F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
率直	2	率直な						×		○						○	○		
卑怯	2	卑怯な					○	×											
冷静	2	冷静な						×		○			○				○	○	
立派	4	立派な						×											
乱暴	2	乱暴な					○	×	○				○				○		
余計	2	余計な						×											
幼稚	2	幼稚な						×		○									
陽気	2	陽気な						×		○									
容易	2	容易な						×		○									
愉快	2	愉快な						×											
有利	2	有利な						×		○			○						
有名	4	有名な						×											
有能	2	有能な						×		○									
優秀	2	優秀な						×											○
厄介	2	厄介な						×											
面倒	2	面倒な	△				○	×											
迷惑	2	迷惑な						×	○	○									
明確	2	明確な					○	×		○		△					○	○	
無理	3	無理な						×											
豊富	2	豊富な						×											
膨大	2	膨大な						×											
便利	4	便利な						×											
平凡	2	平凡な						×										○	
平気	2	平気な						×											
不利	2	不利な						×											○
不満	2	不満な					△	×											○
不便	3	不便な						×											
不平	2	不平な	△				△	×					○						
普通	3	普通な						×											
不正	2	不正な		○				×						○					
無事	2	無事に					○	×											
不幸	2	不幸な					△	×											
不潔	2	不潔な						×											
複雑	3	複雑な						×											○
不運	2	不運な					○	×											
微妙	2	微妙な					○	×											
必要	3	必要な						×		○									○
莫大	2	莫大な					○	×											
馬鹿	2	馬鹿な						×											
呑気	2	呑気な						×											
熱心	3	熱心な						×											
独特	2	独特な						×	○										
得意	2	得意な						×											
透明	2	透明な						×											
当然	2	当然な					△	×											○
天然	2	天然な					○	×					○			○			○
適度	2	適度な						×											
適當	3	適當な						×		△									

図 6 「的」の付かないナ形容詞への判断

(凡例) ○:「的」が付く/△:はっきり判断できない/×:「的」が付かない。以下の表も同じ

漢語	級	例文数	母語話者					中納言	中国人学習者									
			A	B	C	D	E		F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
具体	2	10288	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○		○	○
基本	2	9802	○	○	○	○	○	○	○			△	○		○	○	○	○
一般	2	6348	○			○	○	○	○	○		○	○	○			○	○
社会	3	5622	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
比較	2	4094	○	○	○	○		○	○			○	○	○		○		○
経済	3	3950	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人	2	3376	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
効果	2	3277	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○
精神	2	3178	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○			○
政治	3	3154	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最終	2	2955	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○				○	
国際	3	2775	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
歴史	3	2690	○	○	○			○	○	○	○			○			○	○
世界	3	1936	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
代表	2	1828	○	○			△	○	○			○	○		○	○		△
主義	2	1745	○			○		△										
合理	2	1715	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
長期	2	1700	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○	○	○
科学	3	1683	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○
技術	3	1679	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
自動	2	1671	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
一時	2	1668	○				○	○	○			○	○		○	○	○	
徹底	2	1563	○	○		○	○	○	○	○		○					○	
現実	2	1513	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		○	○	○
決定	2	1468	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○				○	○
魅力	2	1431	○	○			△	○	○					○	○	○	○	○
全国	2	1424	○		○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	
計画	3	1423	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
定期	2	1422	○					○	○	○					○	○		
一方	2	1339				○		○	○	○		○		○			○	
結果	2	1309	○	○	○		○	○	○		○	○	△		○	○	○	○
専門	3	1268	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○
典型	2	1260	○		○		○	○	○	○		○			○	○	○	○
文化	3	1234	○	○	○	○	△	○	○	○	○			○	○	○		
全体	2	1210	○	○	○		○	○	○	○		○		○				
日常	2	1169	○	○		○		○	○	○		○					○	
心理	2	1136	○	○	○		○	○	○			○	△		○			○
直接	2	1117	○	○		○	○	○	○					○		○	○	○
絶対	2	1074	○	○	○		○	○				○		○	○	○		
物理	2	1018	○	○	○			○	○			○	○		○			
宗教	2	1002	○	○	△	○	○	○	○	△		○				○	○	○
時間	4	923	○	○		△	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
理想	2	906	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
対照	2	875	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	△
中心	2	862	○	○			○	○	○			○	○	○				
継続	2	843	○	○	○			○				○				○	○	△
基礎	2	842	○			○	○	○	○	○	△	○		○	○	○	○	○
安定	2	823	○	○	○		○	○	○					○				
人間	2	822	○	○	○			○	△									
印象	2	821	○	○	○	○	○	○		○		△	○		○		○	○

図 7 上位の語幹と選択の分布

漢語	級	母語話者					中納言	中国人学習者											
		A	B	C	D	E		F	G	H	I	J	K	L	M	N	O		
挨拶	3						×			○									
愛情	2						×												△
合図	2					△	×												
握手	2						×												
圧縮	2						×												
安心	3						×			○					○				
案内	3						×												
委員	2						×												
以下	3						×												
以外	3					△	×												
育児	2					○	×				△								
以後	2						×												
以降	2						×												
医師	2						×												△
医者	4						×								○	○			
以上	3						×												
椅子	4					○	×												
以前	2						×												
一々	2						×												
一応	2						×												
一段	2						×				○								
一度	3						×		○	○									
一部	2	△					×		○		○			○	○				
一流	2						×		○		△					○			
一種	2						×												
一瞬	2						×				△					○			
一緒	4					○	×												
一生	2						×			△	○								
一旦	2	△					×												
一定	2						×		○	○							○		
移動	2						×					○							
以内	3					△	×												
違反	2						×												
衣服	2	△					×												
以来	2						×												
依頼	2						×			○									
引退	2						×												
引用	2						×												
引力	2					△	×									○			
有無	2						×												
運転	3	△				○	×			○					○				
英文	2						×			○									
英和	2						×												
液体	2						×	△			△		○						△
宴会	2					△	×												
延期	2						×												
演説	2						×												
演奏	2						×												
遠足	2						×												
煙突	2						×												

図 8 「的」の付かない語幹と選択の分布

参考文献

- 宇佐見英美子 (2001) 「接尾辞『～的』について」 『津田塾大学紀要』 33. PP.239-261 津田塾大学紀要委員会
- 遠藤織枝 (1984) 「接尾語『的』の意味と用法」 『日本語教育』 53 : PP. 125-138
- 王娟・曲志强・林伸一 (2001) 「『的』付きナ形容詞と非『的』ナ形容詞の分類と意味の特徴」 『山口国文石井大教授退官記念特集号』 PP. 124-146、山口大学文理学部国語国文学会
- 謝貴蘭 (1993) 「日本語の『的』と中国語の『的』について」 『日本語教学国際研討論文集』 東呉大学 PP. 257-270
- 曹紅荃・仁科喜久子 (2006) 「中国人が学習者の作文誤用例から見る共起表現の習得—名詞と形容詞及び形容動詞の共起表現について—」 PP. 70-79
『日本語教育』 130号 特集コーパスと日本語教育—現状と課題—
- 小出慶一 (2004) 「接辞「的」の新しい用法——「的には」という用法について——」
『群馬県立女子大学国文学研究』 24, PP. 1-14、群馬県立女子大学国語国文学会
『日本語能力試験出題基準』 2006年3月 凡人社出版
- 望月通子 (2010) 「日本語学習者と母語話者の『的』の使用研究—コーパスを利用して」 『2010世界日本語教育大会論文集・予稿集』 398 PP.1-10
- 原由起子 (1986) 「一的中国語との比較から」 『日本語学』 5巻3号 PP. 73-80
- 堀口和吉 (1992) 「助辞「～的」の受容」 『山辺道』 第36号, PP.59-76 天理大学国語国文学会
- 藤居信雄 (1957) 「的ということば」 『言語生活』 71 : PP. 71-76
- 藤居信雄 (1961) 「的の意味」 『言語生活』 119 PP. 80-83
- 丸山千歌 (1996) 「英語の接尾辞-ticの訳語「的」について——『中央公論』1962年11号の場合——」 PP. 15-42 『ICU日本語教育研究センター紀要 6』 国際基督教大学日本語教育研究センター
- 南雲千歌 (1993) 「現代日本語の「的」について——雑誌『中央公論』1992年11月号の場合」 PP. 72-98 『ICU日本語教育センター紀要 3』 国際基督教大学日本語教育研究センター
- 梁賢後 (2005) 「韓国人学習者の漢語系形容動詞の習得に関する研究——中国人学習者との比較を中心に——」 日本語教育学会秋季大会 金沢大学 PP.103-114
- 山下喜代 (1999) 「字音接尾辞「的」について」
『日本語研究と日本語教育』 森田良行教授古稀記念論文集刊行会編 PP. 24-38

関連 URL

国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』
<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>